



横浜市立田奈小学校
学校だより

平成28年 6月 1日

6月号



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana>

校長 二瓶 光代
Tel 045-981-0009

感謝の心とともに

校長 二瓶 光代

運動会では、大勢の保護者の方・地域の方にご来校いただき、穏やかな天候のもと子ども達は練習の成果を十分に発揮することができました。感謝申し上げます。

さて去る5月11日、5年生が稲（もち米）の種まきを行いました。昨年度の5年生は、自分たちで苗に水をやるという体験を経て田植えに臨みましたが、水やりの頻度が難しく枯れてしまったように見えた苗でしたが、地域の方の目利きにより選ばれた12株の稲は見事に実をつけ、子ども達が、稲のたくましさを目の当たりにしたことは、以前学校便りでお伝えした通りです。この学習を伝え聞いていた今年の5年生は、「苗の前段階、種をまくところから自分たちで行ないたい。」という願いを持ちました。この願いを受けて地域の方は、育苗箱を入れる5年生専用のビニールハウスを特設して下さいました。しかも、子ども達が観察や水やりに来る時に場所が分かりやすいように、「田奈っ子水田」付近の場所を選んで下さったのです。「種から育てる。」という願いが実現できる喜びと感謝の気持ちで行った種まきでは、譲り合いながら活動したり、友達の活動のよさを自分の活動に取り入れたりというように90人の子ども達が学び合っている姿が見られました。

ビニールハウスには、初めのうち光を通さないシートがかけられ、中は真っ暗です。稲は、暗闇の中で発芽しますが、光に慣らすためにある時期がくるとシートは外されます。苗が暗黒下・高温・恒温条件から、陽光下・低温・変温条件というように環境面で大きな変化に遭遇するため、この時期は、苗づくりの中で大変重要な時期だそうです。